

シンポジウム 3 企画概要

タイトル	2025 年 2050 年問題を徹底討論するー我が国の未来予想図を描くー(案)
------	---

テーマ
団塊の世代が後期高齢者になる 2025 年、巷で何が起きるのか、日本がどう変化するのか、世界の中で我が国がどのような立場で存在するのか、それを知り、準備する。

概要
戦後の良い面と悪い面の両方を背負ってきた団塊の世代は、強きに生き貫き、日本を作り上げてきた。2025 年はその団塊世代の人々の多くが後期高齢者になる節目の年であり、それ以降に我が国の模様が大きく変わると予想されている。人口構成の変化に応じ、経済状況や政治の様子、国民の価値観、生活様式、さらに文化まで変貌を遂げるかもしれない。我が国の未来はどのようなのか、私たちは次に世代のために何を残すことができるのか、そして、直ちに私たちが成すべきことは何なのか？国民にとって、大きな犠牲を払う改革になる可能性も高い。 超少子高齢かつ多死社会に突入する我が国で目指すべきことは、①寝たきりにならず健康で働ける人々を増やすこと、②効率的かつ合理的な社会保障制度を作りあげること、③医療や介護を競争力のある基幹産業に変貌させること、④新しく構築すべきものと先達の残したものを有効にかつ大切に利用すること、⑤国民が死ぬまで幸せであるようにすること、である。しかし、目標を現実にするための具体的指針はまだない。そして、医療・介護従事者が日常業務を行いながら改革を進めるためには、いかなる認識と覚悟を持つ必要があるのかを知る必要がある。 本シンポジウムでは、我が国の未来予想図を描き、社会保障制度の行く末を考え、自らを見直し次のアクションに繋げるために、オピニオンリーダーの意見に耳を傾け、徹底討論する。